＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　少子化に伴い競技人口が減少する中でいかにして部活動を充実させるか

【学校名】　滋賀県立　虎姫高等学校

１　本校の概要

滋賀県立虎姫高等学校は、滋賀県北部に位置する県立高校です。校風は「質実剛健」で、知・徳・体のバランスを重視し、社会に貢献できる人材の育成を目指しています。現在、1 学年に 5 クラスがあり、全校で約 600 人の生徒が在籍しています。本校には 16 の運動部と 8 の文化部があり、部活動の数は多いものの、生徒数に対して各部の部員数が少ないという現状があります。

２　取り組んだ内容

（1）近隣中学校や地域クラブとの連携

長浜市内には女子ソフトボール部を持つ中学校が 4 校ありますが、少子化により生徒数が減少し、2 校では部活動の縮小や廃部が決まりました。この影響で、中学校間での交流が減少しているため、高校と中学校との交流をさらに深めることが重要だと感じました。そこで、本校では中学校との合同練習や練習試合を自校で実施することにしました。これにより、練習の充実や安全面の配慮をしながら交流を深め、ソフトボール同好会の生徒（3 名）は貴重な体験を得ることができました。また、合同練習や練習試合では、長浜市内で活動している滋賀 SBC や長浜北中学校とも連携を図り、一緒に活動する機会が増えました。

（2）練習の効率化

本校のソフトボール同好会には現在 3 名の生徒が所属しており、実践的な練習は合同練習や練習試合でしか行えません。また、普段の練習では人数が限られているため、練習メニューも制約があります。そこで、今回購入した集球ネットや手動型ピッチングマシンを活用し、限られた人数とスペースの中でも効率的に練習できるよう工夫しました。さらに、バッティングギアを使用することで、各生徒の個別の課題に合わせた練習が可能になり、現状把握と課題設定が明確になりました。これにより、個々の能力向上が促進され、練習の質が向上しました。

３　活動の成果

3 名という非常に少ない人数での活動が中心となるため、チームとしての連携等の練習がなかなかできなません。そこで、個人の技術向上に特化した練習を中心に行っていきました。部活動の練習道具が充実したことで、生徒が練習をする際に、どういった目的でどのような練習をしたいかを主体的に考え、どの練習を選択するかを考えることができるようになってきました。また、地域での合同練習や練習試合を実施しやすい環境が整いつつあるため、今後ますます湖北で中学校とのつながりが深まる期待が持てるようになりました。特にトスフェンスは練習の効率を上げるだけでなく、安全面にも配慮した活動を行えるため、生徒が質の高い練習を安心して実施できています。また、手動型ピッチングマシンは電力を使わず実践的な練習が可能になるため、試合を想定した練習が可能になりました。このような練習の成果が少しずつ現れ始め、公式戦でも結果を残し始めています。現在の活動状況を地域の中学生に知っていただき、湖北地域をスポーツで盛り上げていくことができればと考えています。

【主な活動実績】

- 令和７年度春季高校総合体育大会３位
- 第５８回　奈良・和歌山・滋賀　三県対抗高等学校女子ソフトボール選手権大会本戦出場
- 令和７年度第３０回近畿公立高等学校女子ソフトボール大会６位
- 令和 7 年度第 78 回県民体育大会ソフトボール競技 3 位